

改善計画書

施設名 和泉保育園

(担当者 石黒喜恵子)

(作成年月日 令和 6年 3月 19日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント	
施設として特に優れている点	1	自然や生き物に触れながら散歩などの園外保育を行っている	6	事故防止ガイドラインの作成や事故防止マニュアル、危機管理マニュアルなどを整備してリスクマネジメント体制を強化している					
	2	ノーコンタクトタイムを作り子どもと離れた環境で職務を行える時間を確保している	7	ヒヤリハットや事故報告書の発生事案について発生要因の分析と再発防止策をクラスで検討し、全職員に周知している					
	3	制作面と運動面の計画を立て、子どもの姿を観察しながら一年通して取り組んでいる							
	4	園での様子を動画や月1回の写真で配信、又登降園時にその日の様子を伝えるなど保護者に安心してもらえるよう努めている							
	5	個々に合わせた援助を考え、疑問が出た時には園長や主任に相談したり、職員会議で他の職員にも相談しながら子どもたち一人一人にこまやかな関わりを行っている							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当	
取り組んでいること	1	個人目標を設けるなどの工夫をする	個人の目標設定をする	1年	R6年4月	R7年3月	年度初めに個人目標を立てる→夏に園長と面談し中間経過を確認→3月に反省と次年度の目標設定を行う	主幹・副主幹	
	2	1年の評価・分析結果について計画的な改善への取り組みを行う	教育・保育目標の評価・分析結果について計画的に改善へと取り組む	1年	R6年4月	R7年3月	評価・分析結果を踏まえ改善について全職員で話し合う	園長・主幹	
	3	保護者に対して行事計画や事業計画の情報提供を行う	ICTシステムを利用して保護者に行事計画や事業計画の情報提供を行う	1年	R6年4月	R7年3月	事業計画の概要をまとめ、ICTシステムを使用して情報を提供する	園長・主幹・副主幹	
	4	クラスの方針を全職員に周知する	クラスの方針について全職員に周知し理解できるように取り組む	1年	R6年4月	R7年3月	年度末にクラス方針の策定と見直しを行い、全職員に周知する。周知したクラス方針について全職員で話し合う	園長・主幹・副主幹	
	5	保護者からの苦情内容や対応結果について公表していないので改善が必要	保護者からの苦情内容や対応結果について園だよりや掲示板などで公表していく	1年	R6年4月	R7年3月	保護者からの苦情に対して職員で話し合い、対応結果を伝える。苦情内容と対応結果について園だよりなどで公表していく	主幹・各担任	
工夫すればできること	1	感染症のマニュアルはあるが、勉強会など定期的に行っていない	感染症対策についての勉強会などを定期的に行うと共に、研修会にも参加していく	1年	R6年4月	R7年3月	全職員で感染症対策についての勉強会や研修会に参加し、感染症についての知識を高め、互いに共有し合っていく	副主幹	
	2	基本の保育をわかりやすくする	保育の基本マニュアルを作成	半年	R6年1月	R6年6月	難しくしすぎず、ポイント押さえてわかりやすく簡潔に作る	園長・主幹・副主幹	
	3	中・長期的なビジョンの見える化	中・長期的な法人経営ビジョンの策定・公表	1年	令和7年度	R7年7月	中・長期的な法人経営ビジョンを策定し、理事会で協議し、でき次第、職員に周知説明を行う	理事長	
	4								
	5								
予算化しないこと	1								
	2								
	3								
	4								
	5								